

平成30年度事業報告書
(簡略版)

社会福祉法人誠友会

〔1〕 概要

1. 法人及び施設の概要

(1) 法人

- ① 法人名 社会福祉法人誠友会
- ② 所在地 千葉県佐倉市岩名1011番地
- ③ 代表者 理事長 竹内 淳
- ④ 設立年月日 昭和63年11月4日
- ⑤ 目的 多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援する。

⑥ 役員 8名

平成31年3月31日現在

役職名	氏名	住所	公職等
理事長	竹内 淳	〒285-0011 佐倉市山崎 368	誠友会統轄施設長
常務理事	竹内久美子	〒285-0011 佐倉市山崎 368	はくすい保育園 施設長
理事	木村 正久	〒285-0015 佐倉市並木町 243	木村医院 医師
理事	網仲 純子	〒285-0038 佐倉市弥勒町 132-5	千葉家庭裁判所家事調停委員
理事	鈴木敬一郎	〒286-0047 成田市江弁須 220-81	特養 栄白翠園 施設長
理事	安宅 香織	〒264-0025 千葉市若葉区都賀 3-1-20-304	特養 佐倉白翠園 施設長
監事	佐藤 満	〒284-0008 四街道市鹿放ヶ丘 305-2	元四街道市福祉サービス部長
監事	井戸川員三	〒284-0001 四街道市大日 470-36	千葉県四街道市監査委員

⑦ 評議員 7～9名

役職名	氏名	住所	公職等
評議員	大久保靖夫	〒270-1516 栄町安食 3660	NPO法人 栄町観光協会理事長
評議員	福山 昭	〒285-0854 佐倉市上座 1190-10	元佐倉市総務部長
評議員	中野いく子	〒285-0025 佐倉市鍋木町 235	桜美林大学加齢発達客員研究員
評議員	寺田 純子	〒286-0047 佐倉市宮ノ台 5-12-8	佐倉市社会福祉協議会理事
評議員	櫻井 肇	〒285-0011 佐倉市山崎 500-1	佐倉市内郷地区社会福祉協議会会長
評議員	峰村 愛子	〒285-0034 佐倉市千成 1-20-4	ボランティア代表
評議員	田代 道郎	〒112-0002 東京都文京区小石川 3-16-8	元入所者家族代表
評議員	萩原 勝世	〒285-0812 佐倉市城 203-2	松ヶ丘防犯グループ会長
評議員	穴原 昌弘	〒270-1515 栄町安食台 2-5-17	栄町民生・児童委員協議会 会長

⑧ 評議員選任解任委員 3名

役職名	氏名	住所	選出分野
監事	佐藤 満	〒284-0008 四街道市鹿放ヶ丘 305-2	誠友会 監事
事務局	大澤 幸男	〒285-0005 佐倉市宮前 2-11-4	誠友会総合事業推進室室長
外部委員	野口 恭義	〒285-0861 佐倉市臼井田 1029	元誠友会理事・評議員

2 会議開催状況

(1) 理事会 全4回 評議員会 全3回

主な議題

事業報告、事業計画、予算、決算、定款、各種規程変更、法人設立30周年記念行事について、佐倉白翠園の定員認可変更について

(2) 苦情処理委員会開催状況 全2回

(3) 合同経営会議 全12回

3 公開講座（福祉講話） 全1回

2 佐倉白翠園

[1] 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

1 指定施設サービス内容 定員50名

2 会議等

所属長会議（全31回） 給食委員会（全12回）

職員全体会議（全2回） 衛生委員会（全12回）

経営会議（全12回） 感染症対策委員会（全12回）

看護会議（全12回） 行事委員会（全9回）

介護会議（全体会議1回）

介護リーダー会議（全10回）

※ 事故防止員会、安全対策委員会、褥瘡対策委員会、虐待防止委員会同日開催
個別処遇会議（全32回）

入所（入居）検討委員会（全16回）

3 防災

(1) 防災訓練実施日及び内容 全16回

4 ボランティア活動

(1) ボランティア活動年間延べ1052人（前年度 1052人）

(2) ボランティア懇談会 全2回

5 地域交流事業 全7回

6 実習生受け入れ状況 年間実人数 40名 延べ人数 194人 延べ日数 65日
福祉・医療系 教育系等

7 各部門

【生活相談室】 正職1名

入所者の入院や入退所による入れ替わりが年間通して続き、昨年度より稼働率が低下した。

(1) 年間平均稼働率 95.8%（前年度98.1%）

(2) 平均介護度 4.22（前年度 4.28）

(3) 平均年齢 86.5歳（前年度 85.1歳）

【看護室】 加算配置1名 正職1名 嘱託・パート：8名（ショート・デイ・ユニット兼務）

入所者の重度化により受診・入院数が増加したが、早期の対応により重症化を防ぐことができた。

- (1) 病院受診状況 年間延べ 646 名 (前年度年間延べ 586 名)
 (2) 入院状況 年間 22 名 (前年度年間 14 名)
 (3) 死亡者数 年間 6 名 (園内看取り 3 名) (前年度 5 名)

【栄養室】 配置正職 1 名 (ショート・デイ・保育兼務)

管理栄養士が昨年退職してから、栄養加算算定不可となっていたが8月より再開。全体的な食レベルが低下し、超きざみ食、ペースト食が増加。ペースト食に関しては16%から28%に上昇した。さらにペースト食において、通常量での提供は半分以下となった。

【介護部】 正職 15 名 嘱託・パート 16 名 (ショート担当兼務 12 名)

身体状況に合わせ、食事場所や離臥床時間を考慮した個別対応を開始した。また、昨年度に引き続き、帰宅願望の強い入所者への対応、機能訓練と認知症予防を目的とした個別対応型の定期的なレクや余暇活動を継続して実施した。

- (1) 年間行事参加人数 (SS 含) 782 名 (前年度 1122 名)
 (2) 年間誕生会参加人数 (SS 含) 693 名 (前年度 721 名)
 (3) 年間クラブ・レク実施状況 (SS 含) 116 回 (前年度 150 回)
 (4) 精神スケール調査

平成29年11月15日～11月30日 改訂 長谷川式スケール調査

	カットオフポイント	平成29年度	平成30年度
非認知症	21点以上	4	3
認知症	20点以下	31	30
調査不可能	—	15	16
未調査	—	0	0
合計	—	50	49

[2] 特別養護老人ホーム (ユニット型介護老人福祉施設)

- 1 指定施設サービス内容 定員 50 名 (1 ユニット 10 名×5 ユニット)
 2 会議等 介護全体会議 全2回 ユニットリーダー会議 全9回
 ※ 事故防止委員会、褥瘡対策委員会、行事委員会同日開催
 ユニット会議 全4回
 3 ボランティア協力状況 年間延べ77名 (前年度 140 名) 個人ボランティアが多い傾向
 4 各部門

【生活相談室】 専任正職 1 名

上半期は入院や退居が相次いたが、下半期は例年に比べて比較的安定した稼働率が確保できた。

- (1) 年間平均稼働率 95.8% (前年度 96.2%)
 (2) 平均介護度 3.64 (前年度 3.40)
 (3) 平均年齢 88.4 歳 (前年度 88.3 歳)

【看護室】 加算配置 1 名 正職 1 名 嘱託・パート：7 名 (ショート・デイ・ユニット兼務)

入居者の重度化や持病の悪化により繰り返しの受診・入院数が増加したが、早期の対応により重篤化を防ぐことができた。

- (1) 病院受診状況 年間延べ 696 名 (前年度年間延べ 624 名)
 (2) 入院状況 年間 40 名 (前年度年間 26 名)
 (3) 死亡者数 年間 5 名 (園内看取り 2 名) (前年度 8 名)

【栄養室】 正職兼務1名

ユニット型は常食を基本とし、利用者の目の前で刻む食事提供を基本として実施。栄養状態や食レベル低下が増加し、厨房にて超きざみ食、ペースト食を多く提供する傾向となった。また、嚥下レベルにより水分トロミ付きが増加した。

【介護部】 正職13名、パート19名（うち育児休業中1名）

介護ロボット（見守りセンサー）を導入し、入居者の安全、事故防止に努めている。前年度後半から引き続き夜間帯の勤務体制が厳しく、派遣職員を活用し改善を図っている。

(1) 年間行事参加 30回（前年度34回）

(2) 年間誕生会回数 31回（前年度27回）

(3) 精神スケール調査

平成31年3月1日～3月15日 改訂 長谷川式スケール調査

	カットオフポイント	平成29年度	平成30年度
非認知症	21点以上	5	6
認知症	20点以下	33	30
調査不可能	—	7	11
未調査	—	4	3
合計	—	49	50

[3] ショートステイサービス（短期入所生活介護事業）

1 指定居宅サービスの内容 定員24名

2 会議等 ショートステイ会議 全6回

3 各部門

【生活相談室】 正職1名（特養従来型兼務）

年間を通して長期利用者の施設入所（従来型・ユニット型特養や他施設）が多くあり、全体的に稼働率が低下した。

(1) 年間平均稼働率 79.9% 平均利用 19.1名
(前年度 87.2% 20.9名)

【看護室】 加算配置1名 正職1名、嘱託・パート：7名（ショート・デイ・ユニット兼務）

長期利用者が増加し体調管理に務めたことで、医療行為利用者は減少した。

(1) 年間医療行為利用者 述べ12名（前年度 18名）

【栄養室】 正職1名（従来型・デイ・保育兼務）

昨年に比べ、常菜・一口大での提供数がやや増加しているとともに、箸も使用する利用者が15%上昇、逆にスプーンのみ使用が15%減少し、全体的な食事に対するレベルが上がっている傾向にある。

(1) オヤツ作り 年3回

【介護部】 従来型に準ずる。

[4] デイサービスセンター（通所介護事業）

1 指定居宅サービス内容

通常規模型通所介護（定員）月曜～金曜：30名 土曜：25名

2 会議等 デイ会議 全12回

3 ボランティア協力状況 年間延べ325名（前年度295名）

4 実習生受け入れ状況 年間実人数 21名 延べ日数 12日 医療系

5 各部門

【生活相談室】 専任正職1名 兼務2名

新規利用者32名と昨年度より13名増。年度上旬新規利用者獲得ができない厳しい状況であったが、中旬より上昇した事で平均稼働率は70.6%となっている

6月より個別機能訓練Ⅱを開始。

- (1) 稼働率 通常・予防型 年間平均稼働率 70.6% 平均利用 20.5名/日
(前年度 71.4% 20.8名/日)
- (2) 平均年齢 83.8歳 (前年度 83.6歳)
- (3) 新規利用者数 通常型 32名 (前年度 19名)
- (4) 中止者数 通常型 17名 (前年度 26名)

【看護室】 嘱託・パート：6名 (従来型・ショート・デイ・ユニット兼務)

医療行為利用者はなし。6月より個別機能訓練Ⅱを開始。(年間 145名)

- (1) 年間運動器機能 年間 16名 (前年度 0名)
- (2) 医療行為件数 年間 延べ人数 0名 (胃瘻、バルン留置者)

【栄養室】 正職1名 (従来型・ショート兼務)

昨年管理栄養士が退職してから介護課運営に移行していたおやつ作りなどを、下期より栄養室運営にて実施を開始した。

行事食実施状況 季節の行事ごとに実施 端午の節句、クリスマスメニュー等

- ① オヤツ作り 4回

【介護部】 正職3名 (内1名兼務) 嘱託、パート8名 (内1名兼務)、機能訓練指導員1名

園内外活動状況 (園外) 3回

(園内) 行事やレクリエーション、クラブ活動並びに誕生会毎月

6 介護者のつどい (佐倉市委託事業) 全8回

[5] ケアサービスセンター

地域包括ケアシステムの構築にむけた地域ケア会議や医療連携会議等に参加、地域の中で質の高いケアマネジメントの実施に努め特定事業所加算取得困難ケースの支援を複数おこなっている。施設入所等の終了ケースが多いため積極的に新規を受けてきた。

1 利用規模 117名 (156名) ※支援1.2事業対象は2名で1名

2 職員数 正職3名 (4名)

3 利用状況

新規プラン受付 年間90件 (前年度55件)

年間利用件数 支援等 426件 (前年度 272件) 平均 36件/月
要介護 1207件 (前年度 1247件) 平均 101件/月

3

栄白翠園

[1] 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

1 指定施設サービス内容 定員50名

2 会議等

所属長会議（全51回）	給食委員会（全12回）	
職員全体会議（全1回）	衛生委員会（全12回）	安全対策委員会（12回）
経営会議（全12回）	感染症対策委員会（全12回）	
看護会議（全12回）	行事委員会（全12回）	
介護部職員会議（全12回）	施設・在宅合同リーダー会議（全12回）	
個別処遇会議（全23回）	入所検討委員会（全12回）	
褥瘡対策委員会（12回）	身体拘束適正化検討委員会（全4回）	

3 防災

(1) 防災訓練実施日及び内容 全12回

4 ボランティア活動 年間延べ263人（前年度 290人）

5 地域交流事業 全3回

6 実習生受け入れ状況 年間実人数20名 延べ人数100人 延べ日数30日
福祉・医療系 教育系等

7 各部門

【生活相談室】 正職1名

インフルエンザの流行による入院や退所があり、1月、2月は稼働率が低下した。しかし、全体を通して入院期間の適正化やスムーズな新規受け入れができたことで、平均稼働率は前年度よりも上昇した。

- (1) 年間平均稼働率 96.7%（前年度 95.4%）
- (2) 平均介護度 3.86（前年度 3.68）
- (3) 平均年齢 87.9歳（前年度 87.7歳）

【看護室】 正職：4名（1名デイ兼務） パート：1名

インフルエンザが流行し、それに伴う心身機能低下や肺炎の併発もあったが、嘱託医をはじめ近隣の医療機関との連携を強化することで早期の対応ができ、入居者の重症化を防ぐことができた。

- (1) 病院受診状況 年間延べ748名（前年度年間延べ587名）
- (2) 入院状況 年間 33名（前年度年間 36名）
- (3) 死亡者数 年間 5名（前年度11名）

【栄養室】 正職1名（ショート・デイ兼務）

栄養管理面では、低栄養リスクが中レベルの割合が増え、特別食対象者は入居者の退所に伴い昨年より減少した。昨年と比較し、食事のレベルが低下している。

- ・ 主食 米飯：48%、全粥（ミキサー粥）：40%、パン：8%
- ・ 副食 常菜（一口大）：38%、荒（きざみ）：36%、極小（ミキサー）：20%、経管栄養：6%
- ・ 低栄養リスク 低：44%、中：54%、高：2%

【介護部】 正職14名（ショート担当3名） 嘱託・パート：5名

入居者の重度化がすすんでおり、食事や排泄、入浴等の処遇を見直すことでより入居者に寄り添った介護を心掛けた。

- (1) 年間行事参加人数（ショート含） 646名（前年度655名）

- (2) 年間誕生会参加人数（ショート含） 600名（前年度612名）
 (3) 年間クラブ・レク実施状況（ショート含） 31回（前年度35回）
 (4) 精神スケール調査

平成31年2月1日～2月28日 改訂 長谷川式スケール調査

	カットオフポイント	平成29年度	平成30年度
非認知症	21点以上	1	2
認知症	20点以下	41	38
調査不可能	—	5	10
未調査	—	3	0
合計	—	50	50

[2] ショートステイサービス（短期入所生活介護事業）

1 指定居宅サービスの内容 定員 10名

2 会議等 ショートステイ会議 全12回

3 各部門

【生活相談室】 正職1名（介護支援専門員兼務）

利用者の重度化に伴い2泊以上の利用が増えたが、その分、体調不良によるキャンセル等も多かった。

(1) 年間平均稼働率 84.0% 平均利用 8.4名
 （前年度 90.0% 9.0名）

【看護室】

医療的アプローチが必要な利用者が増えたことにより医療行為も増えている。

(1) 年間医療行為利用者 延べ 56名（前年度 21名）

【栄養室】 正職1名（特養・デイ兼務）

昨年と比較して、全粥(ミキサー粥)・刻み、ミキサー食の占める割合が増加し食事のレベルが低下している。

- ・ 主食 米飯：73%、全粥(ミキサー粥)：27%、パン：0%
- ・ 副食 常菜(一口大)：58%、荒(きざみ)：33%、ミキサー食：9%

【介護部】 従来型に準ずる

手作りおやつや鍋企画、月替わりドリンクも好評で長期的な利用の方も園での生活を楽しまれていた。

[3] デイサービスセンター（通所介護事業）

1 指定居宅サービス内容

通常規模型通所介護（定員） 月曜～土曜：28名

2 会議等 デイミーティング 全12回

3 ボランティア協力状況 1名（洗車）延べ回数（24回）

4 各部門

【生活相談室】 正職2名

体調不良による利用キャンセルや新規依頼のない月が続いたことにより、前年度より稼働率が低下した。

(1) 稼働率 通常・総合 年間平均稼働率 70.3% 平均利用 19名/日
 （前年度 75.0% 21名/日）

- (2) 平均年齢 86.2 歳（前年度 84.2 歳）
- (3) 新規利用者数 通常型 23 名（前年度 31 名）
- (4) 中止者数 通常型 23 名（前年度 28 名）

【看護室】 正職 1 名（特養と兼務） パート：1 名

リハビリによる ADL の維持向上と、健康管理に留意した。

- (1) 医療行為者延べ人数 2 名（回数） 胃瘻 103 回 バルン留置者 25 回

【栄養室】 正職 1 名（特養・ショート兼務）

昨年と比較して、全粥(ミキサー粥)・刻み、ミキサー食の占める割合が増加し食事のレベルが低下している。

- ・ 主食 米飯：79%、全粥(ミキサー粥)：21%
- ・ 副食 常菜(一口大)：83%、荒(きざみ)：12%、極小(ミキサー粥)：5%

【介護部】 正職 1 名 嘱託・パート：5 名

毎月行う誕生会や季節のイベントを充実させることができた。

[4] 在宅介護支援センター（委託事業）

相談件数は前年度より増加している。

- 1 利用規模 栄町全域
- 2 職員数 居宅介護支援事業所と兼務
- 3 利用状況
対応件数 45 件（前年度 30 件）

[5] ケアサービスセンター

年間利用者数は前年度より増加している。

- 1 利用規模 介護給付 73 名 予防給付 12 名
- 2 会議等 ケアサービスセンター会議 全 12 回
- 3 職員数 正職兼務 2 名（うち 1 名は短期入所生活介護事業相談員を兼務）
嘱託兼務 1 名
- 4 利用状況
新規プラン受付 年間 34 件（うち予防給付 6 件）（前年度 29 件（うち予防給付 5 件））
年間利用件数 要支援 116 件 平均 9.7 件/月（前年度 112 件）
要介護 829 件 平均 69.1 件/月（前年度 791 件）

4

松ヶ丘白翠園

[1] サービス付き高齢者向け住宅

1. サービス内容 定員 26 名 (26 戸)
2. 稼働率 46.2%
3. 平均年齢 80.4 歳 平均介護度 1.5

[2] デイサービスセンター

- 1 指定居宅サービス内容 通常規模型通所介護 (定員) 月曜～金曜：30名 土曜：15名
- 2 会議等 デイミーティング 全 12 回
- 3 ボランティア協力状況 年間延べ 203 名 (前年度 258 名)
- 4 地域交流事業 全 26 回 (地域防災活動等)

5 各部門

【生活相談室】 専任正職 1 名 兼務 2 名

- (1) 稼働率 通常・予防型 年間平均稼働率 75.5% 平均利用 20.4 名/日
(前年度 80.3% 22.6 名/日)
- (2) 平均年齢 82.6 歳 (前年度 83.8 歳)
- (3) 新規利用者数 通常型 9 名 (前年度 15 名)
- (4) 中止者数 通常型 27 名 (前年度 16 名)

【看護室】 パート 3 名、嘱託 1 名 (佐倉白翠園兼務 3 名)

- (1) 年間運動器機能 年間延 1484 名 (前年度 1832 名)

【栄養室】 国民の祝日に合わせて、委託業者に依頼し、行事食を実施した。

【介護部】 正職 2 名 嘱託 1 名 (生活相談室兼務) パート 6 名

園内外活動状況 (園外) 7 回 (園内) 行事及びクラブ活動並びに誕生会毎月

5

佐倉地域包括支援センター

地域包括ケア推進に向けて、佐倉市社会福祉協議会との共同事業体により生活支援体制整備事業の推進、佐倉・南部圏域合同で在宅医療・介護連携推進地域ケア会議を開催し医療・介護連携を推進している。相談件数は前年度とほぼ変わらないが、指定介護予防支援利用者数は増加している。

1 利用規模 佐倉市佐倉圏域 (高齢化率 35.3% 高齢者数 10,101)

2 職員数 正職 6 名 パート 2 名

3 利用状況

指定介護予防支援月別利用者数 年間延べ 4, 219 名 (前年度 3, 943 名)

新規利用者数 年間延べ 128 名 (前年度 139 名)

相談件数 年間延べ 735 件 (前年度 741 名)

6 佐倉はくすい保育園

認可保育園は4年を経過し、登録児童も61名となり、3月には卒園生7名を小学校へ送り出すことができた。事業所内保育は高齢者施設、保育園の職員不足解消に寄与し、延1260名が利用した。病後児保育においては、利用人数は少ないが、体制を整えて待機している。平成27年度7月より実施した、一時預かり保育事業のニーズは0、1、2歳に多いが、定員枠内の利用に限られるため、利用者数が少ない。引き続き当園の特徴である、高齢者施設との交流の取り組みを実施した。ほぼ毎月同じユニットを訪問することで、訪問時だけでなく、普段のなじみの関係もできてきた。

1 認可保育所

(1) 利用規模 認可保育事業 (定員) 60名 病後児保育事業 (定員) 3名

(2) 保育職員会議 全 12回

(3) 利用状況

認可保育事業 登録児童 61名 年間利用延利用人数 12978名

1時預かり保育事業 登録児童 3名 年間延べ利用者人数 3名

病後児保育 事前面接件数 44件 (昨年 28件)

年間利用人数 10名 (昨年 12名) 延利用日数 9日 (17日)

2 地域子育て支援センター

(1) 実施内容 ミニ講座、身体測定、誕生会 1回/月

園庭開放、育児相談

(2) 利用状況 延べ利用人数 350名 (201名)

相談件数 40件 (21件)

3 事業所内保育

(1) 利用規模 定員9名

(2) 利用状況 月極め利用 0名 一時利用 40名

年間延利用人数 1260名 (昨年 1270名)

平均 4.1名/日 (昨年 4.1名/日)

7 臼井はくすい保育園

前年度は12月開園のため、今回初めて1年在園した卒園生を1名送り出した。

園庭に代わる地域の公園を活用し、歩行指導を繰り返しながら、園児の安全を第一に戸外活動を活発に行った。また、地域の住民や店舗との交流を図って行事を実施した。

室内では、体力作りのための体操指導や、英語に親しむ目的で外国人講師による英語遊びを行った。

1 認可保育所

(1) 利用規模 認可保育事業 (定員) 50名

(2) 保育職員会議 全 12回

(3) 利用状況

認可保育事業 登録児童 33名 年間利用延利用人数 6554名

一時預かり事業 年間延べ利用者人数 42名